

チリメンモンスター実習の目指すもの



学びの教材

ちりめんじゃこの中に混じる珍しい生き物をさがすという作業は、誰もが熱中し、楽しむことができるものです。そのため、本実習は遊びのような感覚で海の生き物の多様さやその生き物たちがすむ環境について興味、関心を持ち、知識を深めるきっかけとなります。このほか、ちりめんじゃこは水産加工物でもあるため、生物学的な側面だけでなく、水産業や郷土史、さらには食育など、多面的にアプローチすることが可能です。本実習を幅広い学びの入り口として位置づけることで、より多くの子どもたちの学びの意欲を喚起し、自ら学ぼうとする姿勢をサポートします。



人と人をつなぐ

ちりめんじゃこは、古くから私たちの食卓にのぼるありふれた食材です。そのため、家庭内でとり組む際は、親子間はもちろんのこと祖父母などともコミュニケーションをはかるきっかけをつくり、学校教育の一環として実施する際には、子どもと教員、あるいは子ども同士の対話を促します。さらに本実習は、普段関わりを持つ機会が少ない博物館や大学等の研究機関の専門家、地域の漁業者、加工業者と子どもたちをつなぐことも可能です。このように、本実習をコミュニケーションツールとして活用することで、人と人とのつながりのさらなる充実を目指します。

子どもたちへのメッセージ



海の生き物に関すること

- 生き物の形（形態）
- 成長（発生）
- くらし（生活史）
- ほかの生き物との関わり（食物連鎖）
- 季節性、地域性など

環境に関すること

- 生物多様性
- 環境学習など

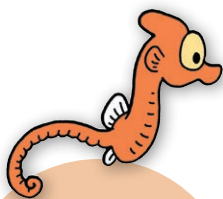
人のくらしに関すること

- 水産業（漁業、加工業、流通業）
- 郷土史
- 食育など



人と地域をつなぐ

チリメンモンスターは、私たちの身近な海で実際にとれた生き物です。地元で獲れた本物の生き物を材料として用いることで、自分たちのすむ地域の特色について実感を伴った理解が可能となります。実習を通して、子どもたちが身近な海に生息する多様な生き物とそれらが生息できる環境やその変化を学び、また、そうした自然の恵みを利用する食文化やくらし、産業への理解を深めることで、自分たちの生活の基盤を意識するきっかけを提供し、地域社会への貢献とその活性化を目指します。



子どもと親、
兄弟、祖父母

実習がつなぐさまざまな関係

チリメンモンスター実習



子どもたち
同士

子どもと
専門家

子どもと
地域社会